広報ひだ

11月

2026年 No.274



プロ特集

安全な暖かさを、このまちに。プロフェッショナルなガス屋さん

特集

「飛騨の匠」の伝統を守り育み、魅力を全国へ

9月17日(木)に行われた大阪工業技術専門学校による棟上げ実習で



プロ特集
市民生活を支える

安全な暖かさを、このまちに。プロフェッショナルなガス屋さん

このまちはまた冬を迎えます。心まで冷え込まないように、ガスや灯油で暮らしを支え、ときには花火で地域の節目を彩る――それが、まちのガス屋さん・合名会社田中屋商店。
代表社員の田中大輔（たなか だいすけ）さん（写真左）と専務取締役の田中昌之（たなか まさゆき）さん（写真右）は、ガスの技術者としてそれぞれ22年、10年の経験を重ねています。その仕事の根底にあるのは、まちを元気にしたいという思いでした。

10年以上の緊張が支える、ガスの安全

――ガス屋さんといえば、プロパンガスのボンベを運ぶ姿を浮かべる人も多そうです。実際にはどんな仕事が多いのでしょう？

大輔さん　おっしゃる通り、お客さんの元を訪ねてガスボンベを交換する仕事は、毎日あります。特に冬は、水温が下がってお湯をつくるのに必要な熱量が増えるため、ガスの消費量も多くなる時期です。多い日には45件ほど、社員１人で９時から17時まで回ることもあります。

昌之さん　ボンベ交換以外では、新築や改築に伴うガス配管工事、ガス設備の取り付けや修繕などのご依頼も通年あります。

――社員の方も含め３名で現場を回し、お二人も自ら現場に出ることが多いとか。技術者として、どんな点に気を付けていますか？

大輔さん　一番は安全です。排気ルートや周囲の可燃物、設置場所・方法が法令に沿っているかを、図面と現場の両方で確認します。

大輔さん　そうした確認に加えて、設備の面でも安全性が考慮されています。例えば、一定以上の揺れを感知するとガスが自動で止まるメーターを使い、地中の配管にも地盤のずれに対応しやすい素材を採用しています。
ただ、こうした仕組みがあってもガスに対して「怖い」というイメージを持つお客さんは少なくありません。**安心して使ってもらえるよう相手に合わせた説明**を心がけています。

昌之さん　10年ほど経験を重ねてきましたが、工事が終わって、最後にガス漏れがないか検査するまでは今でもやっぱりドキドキします。特に飲食店など複雑な工事では、不特定多数の方が利用する場所でもあるので**「念には念を」という気持ちで確認**しています。

大輔さん　経験を積んでも、慣れは禁物ですね。うちでは毎月スローガンを考えていて**「初心に帰る」**といった言葉を掲げることもあります。

見えない配慮が築く、100余年の信頼

――安全面以外に、仕事で心がけていることは何ですか？

大輔さん　**見えないところほど、きれいにして帰る**ことですね。例えば、床下で作業した跡をお客さん自身が見る機会はほとんどありません。でも、お客さんからの信頼を得るためにも、そういう目に触れない部分まで丁寧に仕事をするようにしています。

昌之さん　田中屋商店には、大正10年に事業を始めた初代の頃から、付き合いが続いているお客さんもいます。地元に根差して歩んできた歴史があるからこそ、**お客さんとの一つひとつの関わりを大切にしていきたい**と思っています。

――地域には年配のお客さんも多いと思います。日々の配達や点検では、どんな関わりを大切にしていますか？

大輔さん　灯油の配達も昔からやっていて、希望があれば家の中まで運びます。３階まで持って上がることもありますよ。そういう、かゆいところに手が届く対応は大事にしたいですね。

昌之さん　話しやすい関係づくりも意識しています。そのためか、点検に伺った先でおばあちゃんと話し込むうちに２時間が経っていたことも……(笑)。年配の方も多いので、普段と変わりないか、それとなく気にかけています。



先代ゆずりの明るい笑顔が弾ける大輔さん



30歳で異業種から転身し、専門資格を取得して古川町へ。最初は見習いとして兄や父から学びながら技術を身につけ、現在は現場に立つ傍ら公式インスタグラムでの発信も担当している

元気と笑顔を、まずは自分たちから

――話しやすい関係を築くうえで、広報も一役買っているのでしょうか。ホームページやSNSなど、人の「顔」が前面に出ているのが印象的です。こうした発信は、いつ頃、どんな思いから始まったのでしょうか？

大輔さん　お客さん向けの新聞『元気！通信』を始めたのが10年ほど前です。まずは田中屋商店のことを知ってもらい、身近な存在になりたいと思ったのがきっかけでした。お客さんのところへ伺ったときに「誰？」と思われないよう、顔を覚えてもらいたい。安心してもらうために顔を出していこうという方針は当初からありました。

――『元気！通信』の「元気」という言葉には、どんな思いがありますか？

大輔さん　父が豪快で、すごく元気な人なんです。『元気！通信』という名前にも、まちを元気にしたいという思いが込められています。そのためには、まず私たちが元気じゃないと駄目だよね、と。
自分たちが元気でいれば、その元気が少しずつまちにも広がっていくんじゃないか。そんな思いでやっています。

火薬店として始まった田中屋商店は、今も地域の祭りや節目に花火を打ち上げています。今年９月、神岡町にあるラーメン屋の１周年を祝う花火を、筆者も息子と自宅から眺めました。それ以来、息子は庭に出るたび「ここで花火見たね」と話します。
住む人々の暮らしに、そして心に暖かさを添える。**「あんたに頼んでよかったわ」と言ってもらえるのが何より嬉しい**と話すお二人の笑顔からは、まちに向ける思いが伝わってきました。

田中屋商店の
公式インスタグラム



市民ライター　三代知香

飛騨市の特集



「飛騨の匠」の伝統を守り育み、魅力を全国へ

「飛騨の匠」の技術継承に危機感

近年、建築に携わる方々の高齢化や少子化にともなう慢性的な人手不足、後継者不足などが全国的な課題となっています。また、木材を組んで建物を支える伝統的な建築構法も、骨組みを使わず壁で全体を支える構法と比べ、時間や手間がかかったり価格が高くなりがちなことから、減少傾向です。

どちらが正しい構法かということはありません。しかし、両方を適切に残していかないと、市民の誇りでもある「飛騨の匠」の伝統的な建築技術の継承がうまくいかず、衰退していくことにもつながりかねません。

また、伝統的な構法の建物が減少すると、美しい町並みや景観が損なわれるのではないかという危機感が、市内事業者や職人の皆さんの間でも高まっています。



建築や設計を学ぶ学生らに学びの場を提供

市は９月に、建築や設計などに関する専門技術者を育成する大阪市の学校法人福田学園・大阪工業技術専門学校（ＯＣＴ）と「木造建築技術継承及び人材循環モデル構築に関する包括連携協定」を締結しました。

これは、都市部で建築や設計などを学ぶ学生を対象に、市内の伝統的な町並みや職人文化、豊かな森林資源を身近な教材として使ってもらい、伝統構法とその意義についてより実践的に学んでもらおうというものです。

また、将来的に学生が市へU・Ｉターンするきっかけにしたり、市内の景観維持や伝統的な木工技術の継承につながることも期待されています。

全国へ巣立っていく学生たちが、市の魅力や「飛騨の匠」の技術と文化を全国へ広げる架け橋となることを願って、取組みを進めていきます。



大阪工業技術専門学校との包括連携協定締結式にて

飛騨市での学びが始まりました

今年度からさっそく５人の学生の皆さんが市を訪れ、地元の５工務店でインターンシップを開始。現場で説明を受けながら実際の作業を体験したり、大工さんらの生きた技術や生の声にふれながら、豊かな経験を積んでいます。

また、伝統建築の手法を用いた棟上げ実習も飛騨市文化交流センター交流広場で行いました。近年主流となっている金属部品や重機を使う構法ではなく、ほぞ組みなどを多用し、広さ６畳分、高さ４メートル弱の木造住宅２棟を屋外で組み上げるというもの。あらかじめ加工した木材を大阪市から運搬し、木槌を使って木材を打ちながら人力のみで組み上げました。

当日は、住宅の新築工事で骨組みが完成した際、関係者への感謝やその後の工事の無事を願って行われる「上棟式」も体験。近年ほとんど行われなくなったといわれる神事ですが、歴史・文化的な側面からも伝統構法の学びを深めました。



学校法人福田学園　大阪工業技術専門学校
大工技能学科長
荒井圭一郎（あらい　けいいちろう）さん

■協定先に飛騨市を選んだ理由はなんでしょうか？

職人育成の課題と飛騨市の未来像が深く合致し、自然な形で協定にいたりました。

何より、豊かな森林と町や暮らしの距離が近く、その関係性を身近に感じられる環境が、木造文化を学ぶ場に最もふさわしいと考えているからです。

■学生が伝統構法を学ぶ意義はどんな点にありますか？

すべてが工業化された現代の木造建築では、学生の「考える」機会が損なわれます。手道具を使い、木の性質を身体で感じる伝統構法にはあらゆる段取りが伴います。

森林から暮らしまでの関係性を考え、構築していくこと自体が我々の捉える「建築」であり、その本質を深く学ぶ上で伝統構法は極めて重要な教材なのです。

■学びの場としての飛騨市の印象や利点はどこにあるのでしょうか？

最大の利点は、森林から職人、まちづくり、暮らしまでの距離が近く、町に息づいている点です。職人を先頭に町づくりを担ってきた文化が現存する地域は都市部には存在しません。

「モノをつくるだけでなく、森から暮らしまでの循環を理解した職人」を育成する上で、飛騨市はまさに理想的な学びの場だと感じています。

■学生にはどのような学びを期待されますか？

飛騨という生きたエコシステムに身を置き、全てが整う都市部での「モノづくり」を超え、地域での「仕事・暮らし・交流」を通じアタマとカラダで創造する感覚を自らに注入し将来へ活かす、それが飛騨での学びです。













連携から生まれる相乗効果に期待

市を拠点にして学びを深めるプロジェクトは、学生だけでなく、地域への効果も期待されています。近年の技術者不足や伝統建築の減少を現場から日々実感してみえる現役大工のお二人に、学生との交流や市が学びの場となることへ寄せる期待などについてうかがいました。



工匠金村 代表
金村俊吾（かねむら しゅんご）さん

■学生の印象はどうでしょうか？

実際に学校を見学すると、想像以上に手作業や昔ながらのやり方にこだわってみえて、学生も技術や好奇心があって驚きました。時間が許されるなら僕も行って学びたいくらい。昔ながらのやり方での新築は今は少ないので、造りあげる学びは飛騨でも少ないかもしれませんが、「雲」の組み方とか古い家の解体を見ることでもすごく勉強になるんじゃないかと思います。

■今後に期待することは？

町並みや景観を維持するにしても、よそに頼まんならんというのではやっぱり寂しいじゃないですか。飛騨の子が学校へ行って、技術を持って戻ってきて、維持管理をしていけるというのが一番いいと思うんですね。ただ、伝統的なやり方の仕事が少なくなっていて、難しい面はあるんですが、外観だけでも昔ながらのやり方で美しく維持するというやり方もある。今あるものをいかに残していくかが大事なんじゃないでしょうか。



有限会社永山建設 木造建築大工
田口光廣（たぐち みつひろ）さん

■市内の在来工法の現状はどうですか？

昔ながらの手刻みの仕事は減っていますので、技術を持っていても発揮できない大工さんもみえるのでは。今は時間もコストも削減するやり方を重視する方が増えているので仕方がないことです。私は、機械があっても「手で刻め」と教えられた世代。身につけた技術を生かして、緊張感を持ちながらも自分らしい面白い仕事ができ、いい時代に大工をやらせていただいたと思います。今はちょっと寂しくもありますね。

■学生とふれあってみての感想は？

棟上げされた建物を解体したんですが、私も知らない組み方がしてあって「目から鱗」で勉強になりました。景観保全をするにしても、全部が昔ながらの工法でなくていいし、今の良さを残しながら昔の工法を取り入れてもいいのでは。こうして１人でも多くの若い人が伝統的な技術を学んで関わっていってくれるとうれしいです。

今後さまざまな事業が実施されます！

市民の皆さんにもぜひ関心をもって参加いただいたり、取組みを応援していただくようご協力をお願いします。

■飛騨市内企業での実践インターンシップ
（令和９年２～３月）
市内の工務店等のご協力により学生が現場に入り、市内でのさまざまな働き方を直接学べる機会を設けます。
令和８年夏のインターンでは、学生５名を市内企業５社に受け入れていただきました。

■飛騨市産スギの教材提供プロジェクト（通年）
市有林から伐採されたスギを地元事業者の協力のもと製材から乾燥までを行い、次年度の大工技能学科の教材として大阪工業技術専門学校（ＯＣＴ）へ提供します。

■市民講座・リクルーティング講習会（時期未定）
ＯＣＴ教員による市の町並みの価値に関する講演や、市内工務店向けの人材確保セミナーを計画しています。

問 まちづくり観光課　TEL 0577-73-7463



協定締結によって、将来的に市内の子どもたちや若者が地元に住みながら、オンデマンドで同校の授業を受け、地域での実習を通じて専門職を目指すこともできる「サテライトキャンパス構想」も検討されています。

市外の方の力を借りた新しい枠組みで「飛騨の匠」の技術を守り、人材を育成することは、町並み・景観を維持するだけでなく、市民が誇りとする「飛騨の匠」ブランドの継承にもつながる取組みとなります。

今後の展開にご注目ください。

【選挙】当日投票所の一部変更

投票区の統廃合等に伴い、今後に執行される選挙から当日投票所が一部変更となります。
選挙の際は、お間違えのないようご注意ください。

■統廃合及び変更がある投票所（抜粋）

町名	変更前		内容	変更後	
	投票区	投票所		投票区	投票所
古川	末　広	飛騨市役所	統廃合	末　広	飛騨市役所
	栄	宮城保育園			
	袈裟丸	袈裟丸総合研修センター	統廃合	袈裟丸	袈裟丸総合研修センター
	末　高	末高総合研修センター			
河合	角　川	河合振興事務所	統廃合	角　川	河合振興事務所
	羽　根	高齢者活動・生活支援促進機械施設			
神岡	東　町	神岡町コミュニティセンター	統廃合	東　町	神岡町コミュニティセンター
	茂　住	夢館			
	船　津	地域交流センター船津座	統廃合	船　津	地域交流センター船津座
	寺　林	寺林公民館			
	殿	旭保育園	変更	殿	複合児童福祉施設 （なかよしキッズ）

■今後の投票所一覧

町名	投票区	投票所
古川	向　町	増島保育園
	古　川	古川町コミュニティセンター
	末　広	飛騨市役所
	細　江	杉崎センター
	袈裟丸	袈裟丸総合研修センター
	数　河	数河緑地管理中央センター
	大　村	中野公民館
	信　包	五ケ村農村環境改善センター
河合	角　川	河合振興事務所
	稲　越	友雪館

町名	投票区	投票所
宮川	宮　川	宮川振興事務所
神岡	東　町	神岡町コミュニティセンター
	船　津	地域交流センター船津座
	殿	複合児童福祉施設（なかよしキッズ）
	釜　崎	釜崎地区公民館
	麻生野	麻生野公民館
	吉　田	吉田公民館
	山之村	山之村地区多目的集会施設
	山　田	西公民館

各種選挙情報は、市ホームページでご確認いただけます。

各種選挙情報

投票区の統廃合（R8.9.1）

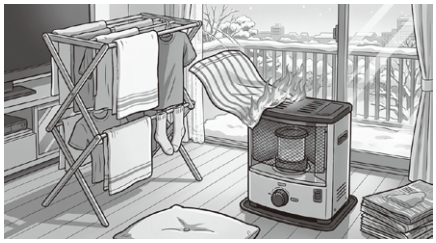
問 飛騨市選挙管理委員会　TEL 0577-73-7461

冬本番を迎える前に！ 石油ストーブ・ファンヒーター「安全使用」セルフチェック

暖房機器による火災の多くは、使い始めの時期や、日々のちょっとした「使い方の誤り」から発生しています。ご自宅の機器や使い方が安全かどうか、家族みんなでチェックしてみましょう。

■置き場所・まわりの環境

・ストーブのまわりに燃えやすいものはない
　カーテン、布団、洗濯物、本や雑誌などが近くにあると、熱や落下で引火します。
・洗濯物をストーブの真上で乾かしていない
　「乾いたら落ちる」のが火災の定番パターンです。絶対にやめましょう。
・スプレー缶やカセットボンベを近くに置いていない
　熱で缶の中のガスが膨張し、爆発する恐れがあり大変危険です。



■給油時のルール

・給油するときは、必ず「完全に火を消して」から行っている
　火をつけたままの給油は、こぼれた灯油に引火して一気に炎上します。
・タンクのキャップは「ギュッ」と確実に閉め、漏れないか確認した
　閉め方がゆるいと、ストーブに戻すときに灯油が周囲に漏れて火がつきます。
・「古い灯油」や「ガソリン」を間違えて使っていない
　昨年の残りなど変質した灯油は異常燃焼します。また、ガソリンの間違え給油は一瞬で大爆発を起こします。保管容器の色を分けるなど徹底を！

■使用中・お出かけ前・メンテナンス

・寝るときや、家を留守にするときは「完全に消火」している
・１時間に１～２回、お部屋の換気をしている
　閉め切った部屋での使いすぎは、一酸化炭素中毒になり命に関わります。
・機器の裏側や下側に、ホコリやゴミが溜まっていない
　ファンヒーターの空気吸込口のホコリは、内部の異常発熱や故障の原因になります。

■FF式石油暖房機などの定期点検

・給排気筒トップまわりの雪かきをしている
・本体と給排気筒が正しく設置されている
　正しく設置されていないと運転中に排気が室内に漏れて危険です。

問 消防本部予防課　TEL 0577-73-6199

市指定ごみ袋「無料引換券」

お手元に「無料引換券」をお持ちの方は、市内の対象店舗にてごみ袋とお引き換えください。10月１日より引換枚数の制限がなくなり、１回のお会計で引換券を何枚でもご利用いただけるようになりました。

■引換期限　１月31日(日)

問 環境課　TEL 0577-73-7482

飛騨市リサイクルセンター 年末年始の休所日（訂正）

広報ひだ８月号で、飛騨市リサイクルセンターの利用案内を掲載しましたが、年末年始の休所日の記載が誤っていました。下記のとおり訂正します。

【正】休所日　令和８年12月29日(火)～
　　令和９年１月３日(日)

問 環境課　TEL 0577-73-7482

帯状疱疹定期接種

今年度対象の方へ４月上旬に帯状疱疹定期接種の案内をしています。接種がまだの方は、接種期限までに受けられることをご検討ください。予診票を紛失された方は、再発行しますので、保健センターまでご連絡ください。

■対象

対象年齢	生年月日
65歳	昭和36年４月２日～昭和37年４月１日生まれ
70歳	昭和31年４月２日～昭和32年４月１日生まれ
75歳	昭和26年４月２日～昭和27年４月１日生まれ
80歳	昭和21年４月２日～昭和22年４月１日生まれ
85歳	昭和16年４月２日～昭和17年４月１日生まれ
90歳	昭和11年４月２日～昭和12年４月１日生まれ
95歳	昭和６年４月２日～昭和７年４月１日生まれ
100歳	大正15年４月２日～昭和２年４月１日生まれ

■接種回数と接種料金

水痘(生)ワクチン　１回　2,300円

帯状疱疹(組み換え)ワクチン　２回(２か月以上の間隔) 7,300円/回

■接種期限

３月31日(水)



問 保健センター　TEL 0577-73-2948

がん対策セミナー2026
知ることから始まるがん対策～「できること」「備えること」のすべて～

がんは早期発見・早期治療が大切です。このセミナーでは、がん検診の重要性から、もしもの備えまで、専門家が分かりやすくお話しします。ご自身や家族の健康について考えるきっかけにしてみませんか。

セミナーにご参加いただいた方にプレゼントをお渡しします。お気軽にご参加ください！(無料・申込不要)

■日時

11月23日(月・祝) 13:30～ (開場13:00～)

■場所

飛騨市図書館　２階　にじのひろば

■プログラム

①飛騨市で知っておきたい、がん検診のすべて

市のがん検診担当者が、がん検診の種類や受け方についてご説明します。

②病院長直伝！「検診と予防」でがんから身を守る方法～若い世代のワクチンから大人の検診まで～

飛騨市民病院の工藤病院長が、がんに関する予防、検査等についてお話しします。

③いざというときの「安心」をつくるがん治療の備え

治療にかかる費用や、それを支える保険の基礎知識を学びます。(協力:明治安田生命)

体験ブースに寄ってみよう！

乳がんセルフチェック体験:乳がん触診モデル　大腸がん検診体験:検診キットの使い方を説明

詳細ページ

問 保健センター　TEL 0577-73-2948

ひだ子ども家庭支援センター ぱすてる　総合相談の日

“だいじょうぶ　ひとりで悩まないで”
お子さんのこと、パパやママご自身のこと、ご家庭のこと、どんなことでも気軽に相談ください。ほっと一息つけるよう一緒に考えます。

■日時
12月15日(火) 13:00 ～ 16:00

■場所
ハートピア古川 母子福祉室

■申込方法
ひだ子ども家庭支援センターぱすてるへ直接電話

詳細ページ

問 ひだ子ども家庭支援センター　ぱすてる
TEL 0577-37-1061　✉pastel@hida-jikoukai.or.jp

広報ひだに関するアンケート

市ではより分かりやすい、関心の持てる情報発信を目指しています。今回、広報紙「広報ひだ」に関するアンケートを行います。皆さんの意見や感想をお寄せください。

■調査趣旨
広報紙「広報ひだ」に感想や意見などを伺い、結果を分析のうえ、今後の市の広報業務や広報媒体の改善に向けた資料とします。

■調査期間
11月16日(月)～ 12月25日(金)

■回答方法
回答フォームより

■回答時間
約３分

問 総合政策課　TEL 0577-62-8880

回答フォーム

認知症啓発講演会

■講演会内容
＜第１部＞『幸せな認知症　川柳とともに考える』
講師：須田病院認知症疾患医療センター　加藤 秀明　院長
認知症は脳の老化と関連しており、長生きをすれば誰もが認知症になる可能性があります。認知症になったら人生終わりではなく、幸せな人生となるよう認知症の理解、予防、幸せになる生き方を川柳とともに楽しく考えてみませんか？

＜第２部＞「みんなで知ろう認知症クイズ大会!」
実生活に役立つ内容を、○×クイズ形式で出題し、加藤院長が皆さんの疑問や不安にお答えします。
自席のままで楽しみながら理解を深めましょう。



■日時
12月３日(木)　13:30 ～ 15:30(参加無料)　※受付は13:10から
■場所
飛騨市文化交流センター　小ホール　定員：80名(定員に達し次第締切)
■申込方法
電話または右コードよりお申し込みください。
■主催
須田病院認知症疾患医療センター　　協力　飛騨市地域包括支援センター

申込フォーム

問 申 地域包括支援センター　TEL 0577-73-6233

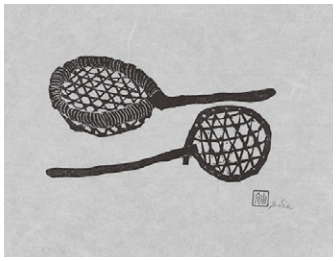
飛騨市美術館　企画展覧会
袖垣治彦 木版画展（第Ⅱ期）～飛騨の獅子舞、民具を彫る～

■期間　11月21日(土)～１月31日(日)
■場所　飛騨市美術館第一展示室
■趣旨　今回の袖垣治彦木版画展(第Ⅱ期)では、飛騨北部の獅子舞と民具をテーマに取り上げます。氏は岐阜師範学校時代から、神岡町森茂や国府の金蔵獅子、また白川村各地の獅子舞を見てまわり多くの版画を残しています。


飛騨の獅子９(1995)

トークイベント　「袖垣治彦氏 自作を語る」
■日時　１月24日(日) 14:00 ～
■場所　飛騨市美術館第一展示室(申込不要)
■内容　袖垣氏が参加者と展示室を巡りながら、飛騨各地の獅子舞や民具について語ります。
※当日は入館料無料です


かんばねこだ


すいの

ミニ木版画教室　「多版多色木版画　はじめの一歩」
２枚の版木による多色刷り木版画を制作します。
■日時　11月29日(日)、12月６日(日) 9:30 ～ 16:00
■場所　古川郷土民芸会館
■講師　大下正喜氏、長瀬由美子氏(日本板画院)
■参加費　1,000円(要申込)

問 飛騨市美術館　TEL 0577-73-3288

袖垣治彦木版画展(第Ⅱ期)～飛騨の獅子舞と民具を彫る～ トークイベント　森茂金蔵獅子と袖垣治彦

袖垣治彦氏が岐阜師範学校時代から彫り続けてきた、神岡町森茂(山之村)の金蔵獅子について、森茂獅子保存会長の清水和彦氏よりお話を伺います。
28年前の森茂獅子を撮影した映像(動画)もお楽しみください。

■日時
11月29日(日) 14:00 ～ 15:00頃

■場所
飛騨市美術館　多目的室

■参加費
無料(入館料必要)


獅子舞(神岡町森茂)

問 飛騨市美術館　TEL 0577-73-3288

飛騨・高山合同企業説明会

令和９年３月卒業予定者やその保護者、一般求職者等を対象に地元企業の情報を広く提供するため飛騨・高山合同企業説明会が開催されます。ぜひお出かけください。

■日時
12月25日(金)、12月26日(土) 13:30 ～ 16:00
■場所
高山市民文化会館　３階講堂、４階大会議室
■主催
高山市雇用促進協議会、高山市、飛騨市
■企業数
約100社

※詳しくは右コードをご覧ください

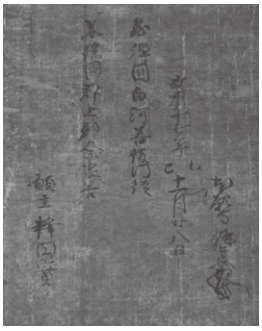
詳細ページ

問 商工課　TEL 0577-62-8901

岐阜県重要文化財　方便法身像・蓮如裏書　修理完了記念
本光寺　文化財特別公開

飛騨古川の三寺の一つ、本光寺には文明17年(1485)に本願寺の蓮如上人より飛騨国に下賜された方便法身像が伝わります。長い年月を経て傷みが見られていた絵像・裏書はこの度修理が完了しました。それを記念し、特別公開・ギャラリートークを開催します。普段非公開の開基本尊を拝観できる貴重な機会です。ぜひご参加ください(参加無料)。

■日時　11月20日(金)・21日(土) 11:00 ～ 12:00
■場所　本光寺　本堂(古川町弐之町1-17)
■定員　30人(申込不要・先着)
■講師　飛騨市教育委員会　学芸員　大下永
　　本光寺　副住職　桑月一仁
■報恩講スケジュール
本イベントはお寺の行事・報恩講の行事に合わせて開催します。
※行事中は文化財が公開されます
11:00 ～　ギャラリートーク
12:00 ～　お斎
13:00 ～　法要
14:00 ～　ご法話
※どなたでもご参加いただけます


蓮如裏書


方便法身像

問 文化振興課　TEL 0577-73-7496

飛騨市美術館では、故・徳永富士子、鴨宮進画塾に関する情報を募集しています

飛騨市美術館では来年度企画展に向け、飛騨地域の画家について調査を進めており、市民の皆さんからも以下２点について情報を募集します。些細な情報でも大歓迎です。

■画家・徳永富士子
故・徳永富士子（1920-2007）は大阪府生まれの画家で、若くして数々の公募展を制覇した天才画家としてその名を轟かせました。1945年に高山へ疎開後、約５年間にわたって滞在して画塾で絵を教え、飛騨市にも足を運んでいたようです。当時の徳永富士子についてご存知のことはありませんか。
■鴨宮進(のぼる)の画塾
故・鴨宮進（1923-2002）は高山の徳永富士子の画塾に通い、その後古川町で画塾を開いて子どもたちに絵を教えていました。この画塾について何かご存知のことはありませんか。

○情報提供方法
電話、メール（hidacity-museum@city.hida.lg.jp）などで美術館までご連絡ください。

問 飛騨市美術館　TEL 0577-73-3288

屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置補助金

市内での屋根の雪下ろし事故を未然に防ぐため、住宅または付属建築物に命綱固定アンカー等を設ける安全対策工事を行う方に対し、補助金を交付します。対象の工事内容については、屋根の形状等によりさまざまな種類の施工方法があります。着工前の申請が必要ですので詳しくは建築住宅課窓口にご相談ください。冬に入る前の設置をぜひご検討ください。

■補助額
・住宅　対象工事費の１/２(上限10万円)
・集会施設等（公民館、神社等）
対象工事費の１/３(上限20万円)
■交付申請受付期間
１月29日（金）まで

問 建築住宅課
TEL 0577-73-0153

第４回探究フェス　～世代を超え、あたらしい“興味”と出会える場～

今年度で４回目の開催となる「飛騨市探究フェス」。
日頃の探究活動のステージ発表や展示、ワクワクする出店や体験コーナーまで盛りだくさん！ひとりでも、家族や友達とでも大歓迎です。皆さんで一緒に探究の世界を楽しみましょう！



■日時　12月５日(土) 9:00 ～ 13:00

■場所　古川町コミュニティセンター(総合会館)

■内容　市内小中高校生・大人による探究活動の発表・展示
ステージプログラム
9:00 ～　オープニング
9:15 ～　各グループによる探究実践発表
12:30 ～　全体講評・閉会

展示・出展ブース
市内小中高特支・団体の活動や作品など各々の探究活動を紹介。
マルシェや体験ブースなどの出店も予定。
詳細や最新情報は市ホームページをご確認ください。

詳細ページ

問 学校教育課　TEL 0577-73-7494

「市岡元気先生の GENKI LABO」で活躍中 さやえんどぅ サイエンスライブ in 飛騨

人気YouTube科学チャンネル「GENKI LABO」のさやえんどぅさんが飛騨に登場！驚きの実験が次々と繰り広げられる特別教室で、科学の楽しさを全身で体験しよう！



■講師
GENKI LABO　さやえんどぅ

■日時
１月10日(日) 14:00 ～ 15:00

■場所
飛騨市文化交流センター

■申込方法
右コードより講座番号36を選択ください。

申込フォーム

問 生涯学習課　TEL 0577-73-7495

飛騨警察署からのお知らせ

詐欺犯人の「送りつけ」に注意!!

警察官を名乗る者が「あなたは犯罪に関与している」等と電話をかけ、その後LINEなどに誘導して、ニセモノの逮捕状や警察手帳を提示して信用させ、お金を要求する手口があります。
詐欺の犯人は、自分の話を信じ込ませ、現金を騙し取るために、被害者に「色々なモノ」を送りつけてきます。

～警察は絶対にしない～

- ●SNSで連絡をとったり、警察手帳や逮捕状などの画像を送る
- ●「逮捕する」と言って金銭を要求する
- ●現金の引出理由について指示する
- ●スマートフォンや逮捕状を送付する

お金を振り込む前にまず警察に相談！怪しいかも？と感じたら、110番通報を！

問 飛騨警察署　TEL 0577-73-0110

お子さんの教育資金を「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）がサポート！

高校、大学への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

■融資額
お子さま1人あたり350万円以内
■金利（令和８年８月３日現在）
年4.05％　固定金利
※「母子家庭」、「父子家庭」、「交通遺児家庭」、「世帯年収200万円（所得132万円）以内の方」または「子ども３人以上の世帯かつ世帯年収500万円（所得356万円）以内の方」は年3.65％
■返済期間
20年以内
■使い道
入学金、授業料、教科書代、塾代、自宅外通学に必要な住宅費用など
■返済方法
毎月元利均等返済（ボーナス時増額返済も可能）
■保証
（公財）教育資金融資保証基金（連帯保証人による保証も可能）
詳しくは、ウェブで「国の教育ローン」と検索。もしくは、教育ローンコールセンターナビダイヤル0570-008656また　は03-5321-8656までお問い合わせください。

問 日本政策金融公庫　岐阜支店　国民生活事業　TEL 0570-049154

11月はエコチャレンジ月間です

ごみ減量やリサイクルなどエコを意識する月間として、さまざまな企画を実施しています。

■「みんなで減らそう！飛騨市ごみ減量アイデア」を募集中です
日々の暮らしの中で実践している、ごみを減らす工夫やアイデアをお寄せください。

■応募期限
11月30日（月）

アイデアの応募方法やエコチャレンジ月間の詳細は市ホームページをご確認ください。

問 環境課
TEL 0577-73-7482

詳細ページ

11月は「秋のこどもまんなか月間」

岐阜県では、子どもや若者の健全育成のため、青少年が使用する携帯電話やスマートフォンへのフィルタリング利用促進などの有害環境対策や社会的自立支援に向けた取組みを行っています。

家庭や地域においても、子どもと積極的なコミュニケーションを図ったり、地域の活動に子どもと一緒に参加してみたりしませんか？



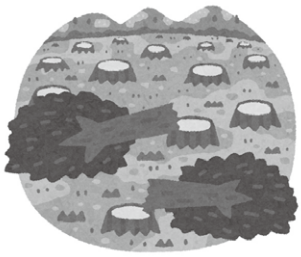
問 生涯学習課　TEL 0577-73-7495

違法な森林開発防止キャンペーン

森林の立木伐採や森林開発をする場合は、森林法に基づく手続きが必要です。

飛騨農林事務所では、違法な森林開発を防止するため、11月を「違法な森林開発防止キャンペーン」期間として指導強化に取り組んでいます。

森林内で不審な「木の伐採」、「新たな建築物や掘削」等を発見した場合は、下記へ連絡してください。



問 違法な森林開発110番
（岐阜県飛騨農林事務所森林保全課）
TEL 0577-33-1111（内線483）

図書館12月のイベント

12月の図書館はお楽しみがたくさん！

秋の上映会part２（飛騨市図書館）
■日時　11月29日(日)
　　13:30 ～ 16:30

アドベントカレンダー(両館)
■期間　12月１日(火)～
　　12月24日(木)

いろんな読書のカタチ(両館)
■期間　12月１日(火)～
　　12月27日(日)

詳細は図書館ホームページをご確認ください。

詳細ページ

問 飛騨市図書館
TEL 0577-73-5600

図書館においでよ 新着図書ピックアップ

大人向けのオススメ



『こよみの基礎知識』
神宮館編集部/編著　神宮館

こよみを理解し、流れや運勢を味方につけるための知識を得ることができる入門書。何かを始めるのに「良い日」をきっかけに動き出してみませんか。

子ども向けのオススメ



『トリのとりちがえ』
内田麟太郎/文　高畠那生/絵
文研出版

トリがとりちがえてしまって、とりかえしがつかない⁉ことばのおもしろさとちょっとおかしな絵にくすっと笑ってしまいます。

問 飛騨市図書館 TEL 0577-73-5600 URL https://hida-lib.jp

お酒は20歳になってから

20歳未満の者の飲酒は法律で禁止されています。

令和４年４月に民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、お酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されています。

ご家族や周囲の20歳未満の方への飲酒予防の声かけなどをお願いします。



問 高山税務署
TEL 0577-32-1020

青木隆治スペシャルライブ

飛騨市文化交流センター開館20周年を記念して、宝くじ文化公演青木隆治スペシャルライブを開催します。ぜひ会場にお越しください。

■日　時　２月13日(土)
　　13:30 開場　14:00 開演
■場　所　飛騨市文化交流センター
■入場料　全席指定
　　前売券 2,500 円
　　当日券 3,000 円
※この公演の入場料は、宝くじの助成により特別料金になっています
※未就学児の同伴・入場はご遠慮下さい
※前売券が完売した場合、当日券の販売はありません
■チケット発売日
12 月６日（日）9:00 ～
■チケットの取扱い
飛騨市文化交流センター、船津座、
チケットぴあ　他



あなたに夢を。宝くじ　街に元気を。
クーちゃん

問 飛騨市文化交流センター　TEL 0577-73-0180

相談コーナー

相談名・相談内容	実施日	時間	場所	問い合わせ
もの忘れ相談 ・もの忘れや認知症の相談 ・受診や介護の相談など **脳体力測定「コグエボ」** ・タブレットを使用した脳トレ ・生活の工夫をアドバイス **カフェ**　・認知症カフェ、脳トレカフェなど **認知症サポーター養成講座**	【要予約】 【利用無料】 月曜日～ 金曜日	9:00～ 15:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5ツタビル2階 （1階にコインランドリー、駐車場あり）	オレンジの森 ☎090-1408-1017（月～金） ※詳細日時はお問い合わせください
	【要予約】 【利用無料】 月曜日・火曜日 水曜日・金曜日	9:00～ 15:00	オレンジ相談ないろ 神岡町殿789-4　旧工藤医院 （駐車場あり）	オレンジ相談ないろ ☎080-7095-6575（月～金） ※詳細日時はお問い合わせください
こころの相談室【要予約】 （精神保健福祉士によるこころの相談）	12/3(木)	13:30～ 15:30	ハートピア古川	保健センター ☎0577-73-2948
若者就労相談【要予約】 （若者を対象とした就労相談）	12/2(水)、9(水)、23(水)	13:00～ 16:00	古川町コミュニティセンター	岐阜県若者サポートステーション ☎0577-35-4772
ビジネスサポート相談【要予約】 （売上拡大、経営改善など経営上の相談）	12/9(水)、10(木) 21(月)、22(火)	10:00～ 17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
	インターネットでの相談も対応しています。詳しくは直接お問い合わせください。		神岡商工会議所	神岡商工会議所 ☎0578-82-1130
ハローワーク出張相談【予約不要】 （職業相談、シルバー人材入会説明）	12/22(火)	13:00～ 15:00	古川町コミュニティセンター	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
	12/14(月)	13:00～ 15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
消費生活相談員による無料相談 （専門の消費生活相談員による消費生活相談）	12/2(水)	10:00～ 15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461
特設人権相談所	12/1(火)	13:30～ 15:30	ハートピア古川・河合振興事務所・宮川町コミュニティセンター・神岡町ふれあいセンター	市民保険課 ☎0577-73-7464

相談や脳トレは会場に来場できない方には、相談員が訪問します。
予約時に訪問希望と伝えてください。

こころといのちの相談窓口

相談窓口情報を悩み別に検索できるサイトです。
電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル　℡0570-064-556

市営住宅入居者の募集

公募住宅	諏訪田団地A棟	昭和町団地	サンアルプ旭G棟	大和団地2号棟	森茂住宅	宮川団地
種類	特公賃	地優賃	公営	公営	特定	特公賃
募集戸数	（世帯用）2戸	（世帯用）1戸	（世帯用）1戸	（世帯用）2戸	（単身用）4戸	（世帯用）1戸
所在地	古川町杉崎	神岡町殿	神岡町殿	神岡町船津	神岡町森茂	宮川町林
構造・規模	RC造5階建	RC造4階建	木造2階建	RC造4階建	木造2階建	木造2階建
間取り	2LDK	2DK	2DK	3DK	1K	2LDK
家賃	入居者の所得に応じて決定					
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金　家賃の3カ月分　■申込期間　11月20日(金)～11月30日(月)　■入居予定日　1月1日(金)

※RC造…鉄筋コンクリート造　S造…鉄骨造

・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください

・申込書は、本人または同居予定者の方が建築住宅課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 建築住宅課　℡0577-73-0153（古川・河合・宮川）　神岡振興事務所 建設農林課 基盤係　℡0578-82-2254（神岡）

点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD（デイジー編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

PICKUP

支える人も、支えたい。一人で抱え込まない社会へ

■問／県地域福祉課　☎058(272)8435

ケアラーとは、家族などのケアを日常的に担う人のことです。「家族のケアは家族・女性がするのが当たり前」という考え方のために、悩みをひとりで抱え込み、孤立してしまうことがあります。岐阜県では、ケアラーが自分らしく生き、家族も自分自身も大切にして暮らせる社会を目指しています。ケアは社会全体で支えるべき課題です。支える人にも支えられる人にも、自分らしく生きる権利があります。

もしかして、ケアラーかも？

相談窓口はコチラから

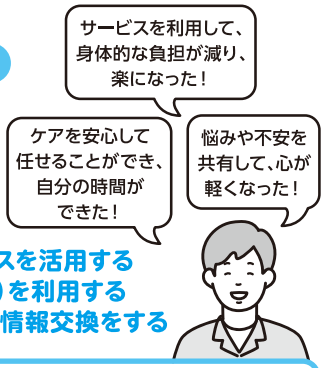
さまざまな理由により、援助を必要とする身近な人に対し、無償で介護・看護・日常生活上の世話を行う人のことをいいます。



仕事と介護の両立や、子育てと介護が重なるダブルケア、高齢者同士の介護など、ケアのあり方はさまざまです。誰もが当事者になる可能性があり、決して他人事ではありません。

誰かを支えるあなたにも、支えが必要です

ご自身の健康や人生も大切です。家族のケアを一人で抱え込まず、遠慮なく相談窓口へお話しください。適切な支援を受けることで、支える人も支えられる人も、より安心して日々を過ごせます。



支援内容の一例

- 福祉サービスや介護保険サービスを活用する
- レスパイトサービス（一時預かり）を利用する
- ケアラー同士で悩みを話したり、情報交換をする

事業主の皆さんへ

これからは仕事と介護の両立支援が不可欠です。環境を整えることが大切な人材を守り、離職防止につながります。ケアを抱える従業員を職場全体で支えましょう。

企業向けケアラー支援オンラインセミナー

2026年11月19日（木）14:00～15:30

仕事と介護の両立を支える職場づくりが学べます！

◆参加費：無料
◆定員：100名（先着順）

申し込みはこちら▶

TOPICS

01 ぎふエコアクション県産品プレゼントキャンペーン実施中！

毎日の生活の中で取り組める省エネ行動と、CO_2削減量を見える化するサイト「ぎふエコアクション」では、現在、CO_2削減量に応じて貯めたエコポイントで応募できる県産品プレゼントキャンペーンを実施しています。この機会に「ぎふエコアクション」に登録し、楽しく得する省エネ行動に参加しましょう。

ぎふエコアクション GIFU ECO ACTION

- キャンペーン期間／10月1日（木）～令和9年2月12日（金）
- 登録方法／右記二次元コードから
- 問／県省エネ・再エネ社会推進課／☎058（272）8835

登録はコチラから

02 「共家事・共育」知っていますか？



県では、性別に関係なく、家事や育児を家族で協力して担う「共家事（ともかじ）・共育（ともいく）」を推進しています。その一環として、各家庭における家事・育児の役割分担を見える化し、より望ましい家事・育児の分担について話し合うきっかけづくりのため、「共家事・共育チェックシート」を提供しています。各家庭にあったチェックシートを選んでご利用ください。

- 問／県男女共同参画推進課 ☎058(272)8237

共家事・共育

詳細はコチラから

03 「ぎふっこ応援キャンペーン」開催





県では、こども・子育てにやさしい社会の実現に向けて取組を推進しています。このたび、「秋のこどもまんなか月間」に合わせて、ぎふっこカードの特別企画「ぎふっこ応援キャンペーン」を開催します。参加店舗を利用し、「ぎふっこカード」又は「ぎふっこカードプラス」を提示すると、期間中だけの特別な特典やサービスを受けられます。また、デジタルスタンプラリーも併せて開催します。

- 開催期間／11月1日（日）～11月30日（月）
- 場所／県内全域
- 問／県子育て支援課／☎058（272）8077

詳細はコチラから

04 【広報紙を読んで応募！】秋の広報紙プレゼントキャンペーン



合言葉を入力し、アンケートに回答のうえ応募いただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼントをお届けします。今回は、乾燥する季節に喉を潤す飲み物を用意しました。応募は、公式LINEアカウント「岐阜県」を友だち登録のうえ、メニュー内「広報紙を読んでプレゼントに応募」からご応募ください。合言葉は『岐阜の飲み物』です！

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。（飲み物はアルコール飲料ではありません。）

- 応募締め切り／11月30日（月）まで
- 問／県秘書広報課／☎058（272）1114

友だち登録はコチラから

この情報は令和8年9月29日現在のものです。紙面に載せきれない、最新のイベントや募集・案内などは岐阜県公式ホームページ［イベントカレンダー］に多数掲載しています。
県秘書広報課☎058（272）1111（代）

イベントカレンダー▶

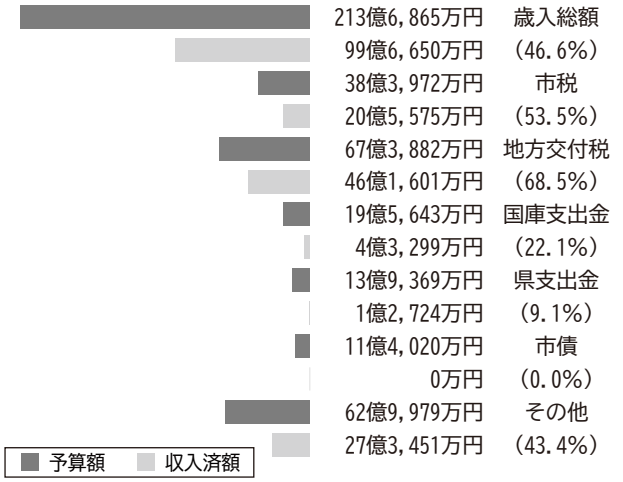
令和８年度予算の執行状況を公表します（令和８年９月末現在）

市の財政運営について市民の皆さんに知っていただくため、「飛騨市財政事情の作成および公表に関する条例」に基づき、年に２回、予算の執行状況などを公表しています。
今回は、令和８年度（令和８年９月30日現在）の予算額に対する歳入・歳出額、基金、市債の状況をお知らせします。

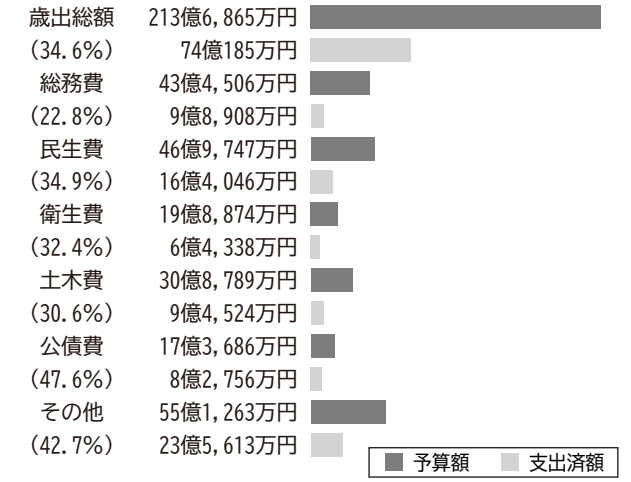
一般会計の執行状況

市が行う仕事の中心部分となる会計です。皆さんから納めていただいた市税や国から交付される地方交付税を主な収入源とし、福祉施策やごみ処理、公共施設の整備、小・中学校の運営などさまざまな行政サービスの提供に使われます。

歳入　収入済額：　99億6,650万円　収入率：46.6%

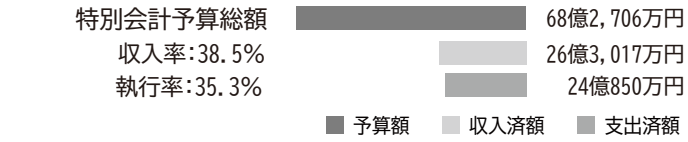


歳出　支出済額：　74億185万円　執行率：34.6%



特別会計の執行状況

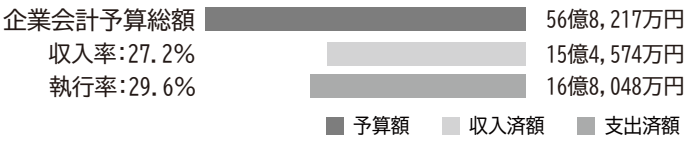
特定の事業を行うため、一般会計とは別に設置される会計



会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	26億6,335万円	9億5,860万円	9億3,197万円
後期高齢者医療	5億7,210万円	1億6,028万円	1億2,415万円
介護保険	33億6,001万円	14億7,651万円	12億6,549万円
下水道汚泥処理事業特別会計	1億9,100万円	1,223万円	7,355万円
駐車場事業	310万円	310万円	6万円
給食費	3,750万円	1,942万円	1,327万円

企業会計の執行状況

地方公営企業法の適用を受け、営利的な事業を行う会計



会計名	予算額	収入済額	支出済額
水道事業	12億7,584万円	1億7,317万円	1億1,568万円
下水道事業	21億3,553万円	6億8,256万円	8億2,109万円
国民健康保険病院事業	22億7,081万円	6億9,001万円	7億4,372万円

基金の現在高

収入不足や将来の事業に備えて蓄えているお金（**貯金**）

会計名	基金現在高	市民１人あたり
一般会計	145億3,007万円	69万4,388円
特別会計	7億5,654万円	3万6,155円
企業会計	16億8,672万円	8万608円
合　計	169億7,333万円	81万1,151円

市債の現在高

学校や道路などを整備するために借りたお金（**借金**）

会計名	市債現在高	市民１人あたり
一般会計	96億7,493万円	46万2,362円
特別会計	1億9,911万円	9,515円
企業会計	49億9,185万円	23万8,559円
合　計	148億6,589万円	71万436円

※数値は万単位であるため、端数処理により計や差引が合わない場合があります。また市民一人あたりは、令和８年10月１日現在の人口で算出しています



問 財政課　TEL 0577-62-8903

こんにちは市民病院です

病院を支える「医療機器のスペシャリスト」
臨床工学技士

皆さんは「臨床工学技士」という仕事をご存じですか？臨床工学技士は、医療機器を扱う専門職です。患者様の治療に使われる機器の操作や点検、管理を行い、安全で安心な医療を支えています。当院では現在、３人の臨床工学技士が勤務しています。少し聞き慣れない職種かもしれませんが、実は病院の中でさまざまな医療機器に関わり、患者様の命や治療を支えているとても重要な職種です。

当院の臨床工学技士の主な業務の一つが人工透析です。透析治療では、透析装置など多くの医療機器を使用します。私たちは治療前の機器の準備や点検、治療中の装置の管理などを行い、患者様が安心して治療を受けられるようサポートしています。

また、人工呼吸器の点検や、ペースメーカのチェックも行っています。医療機器が正常に作動しているかを確認するだけでなく、患者様の状態を見ながら、医師や看護師と連携して対応することも大切な仕事です。

臨床工学技士は「機械を扱う仕事」というイメージを持たれることが多いかもしれません。しかし、実際には患者様の治療を身近で支える医療スタッフの一員です。日々の業務では、機器の小さな変化や異常を見逃さないことを心掛けています。患者様にとって安全な医療環境をつくるため、日頃から機器の知識や技術を学び続けています。さらに、看護師を対象とした医療機器の教育・研修も行い、病院のスタッフが安全に機器を使用できるよう取り組んでいます。

普段はなかなかお会いする機会がないかもしれませんが、臨床工学技士は病院のさまざまな場面で活躍しています。これからも医療機器の専門知識と技術を生かし、多職種と力を合わせながら、地域の皆さんに安全で安心な医療を届けられるよう努めます。

現在、飛騨地域には20名余りの臨床工学技士が活躍していますが、まだまだ人材が不足しています。将来の進路を考えているお子さんやお孫さんにぜひともご紹介ください。



問 飛騨市民病院
TEL 0578-82-1150



そろそろ終活はじめませんか？

＜その80＞

最低限やっておきたいこと

「終活」は必要だとは思っているけど、実際に「終活」に取り組んでいるという人は、どのくらいいるのでしょうか。

多くの人は「いつ」「どこから」「どんな順で」手を付けたらいいのか分からないのが現状かもしれません。

そこで、遺族の立場になって、70歳を過ぎたら、もしもの時に備えて、最低限これだけはやっておいてほしいと思う「終活」をまとめてみました。

①お金に関係するものを整理する

銀行の通帳や印鑑、保険証書や不動産の権利証などは、１カ所にまとめておきましょう。また、できれば財産目録を作成し、預貯金や不動産、骨董や貴金属、自家用車など所有している全ての財産を一覧表にして整理しておきます。そこには、借金やローンなど、マイナスの財産についても記載します。

②身の回りのものを整理する

捨てることに抵抗があるという人は多いのですが、出来るだけ身軽になっておくことで、自分の今と、これからの生活が随分楽になります。何より、遺族になる人にとっても、大きな負担を軽くすることができます。整理の際は、処分することを迷うものは後回しにし、必要のないものは少しずつでも減らしていきましょう。また、どうしても処分することができない場合は、一部屋に集めておくなどして「自分がいなくなったら全部捨ててほしい」と誰かに伝えておく方法もあります。

③延命治療や告知について伝えておく

身体が重篤な状態になってからでは、本人も周りの人もつらいだけです。ぜひ健康寿命があるうちに、延命治療などについて家族や周りの人と話し合っておきましょう。

今回の内容は、あくまでも『必要最低限の終活』です。これらを行う一方で、ぜひ『自分にとっての終活』も考えてみてはいかがでしょうか。

終活フェア
11月28日(土) 10:00 ～ 15:00
神岡町コミュニティセンター
～詳細は市内回覧にて～

問 飛騨市終活支援センター
（飛騨市社会福祉協議会内）
TEL 0577-73-3214

戸籍の窓

2026年10月31日現在

お誕生

【古川町】

堂前　想乃（その）	金森町	次郎・恵李
貫世（ごせ）	金森町	次郎・恵李
濱本　梨寧（りんね）	上町	伊織・琴星
川畑　まこ	杉崎	圭介・いずみ
沖田　遼（かなた）	下気多	晃・遥

【神岡町】

大坪　楓莉（ふうり）	釜崎（釜崎上）	大騎・明由

お悔み

【古川町】

清水　政子	朝開町	(97)
平澤　外司來	杉崎	(89)
福澤　義男	若宮二丁目	(89)
下出　典義	末広町	(98)
井之口　素賀子	沼町	(89)
平澤　志信	杉崎	(77)
舟洞　佐和子	下気多	(92)
岡田　とき子	黒内	(83)
横山　文子	殿町	(97)
橋戸　松彦	末広町	(73)
岩佐　かず子	野口	(90)

【宮川町】

板屋　縫子	西忍	(93)
上野　はす枝	塩屋	(96)

【神岡町】

中谷　ちよ	西茂住	(99)
鳥羽　文介	吉田（吉田中）	(84)
杉越　由美子	東雲	(76)
井口　秀夫	東雲	(99)
荒城　健二	船津（上今３）	(83)
上野　幸子	西茂住	(87)
梶山　光枝	船津（北新地）	(91)
小島　多美江	船津	(76)
住　富江	東町（末広１）	(84)
川上　みゆき	東町（末広１）	(71)
井口　昌子	西（西３）	(88)
洞　正夫	吉田（吉田中）	(90)

ご寄附

【ウクライナ人道危機救援金】

味処古川協会　様（古川町）　金１万円

【令和６年９月能登半島大雨災害義援金】

味処古川協会　様（古川町）　金５千円

【令和８年熊本地震災害義援金】

飛騨市神岡町シニアクラブ連合会　様（神岡町）　金 14,574 円

味処古川協会　様（古川町）　金１万５千円

古川祭を考える会　様（古川町）　金６万８千円

【飛騨市子育て支援事業へ】

ヒミスケ　代表　氷見　大輔　様（古川町）　金５千円

【飛騨市がんばれ応援寄附金（ふるさと納税）】

全国の方からたくさんのご寄附をいただきました

2026 年 10 月分　1,628 件　金 4,539 万円

人口の動き

（11月１日現在　住民登録人口）

男	女	計	世帯数
10,150	10,751	20,901	8,793

出　生	11	転　入	46
死　亡	39	転　出	42
高齢化率	40.91%		

町別人口内訳

古川町	13,054
河合町	734
宮川町	498
神岡町	6,615

消防の状況

（10月31日現在）

本年累計	火災	救急
飛騨市	4	1,006
その他（管外出動）	0	0
前月比	0	+107

交通事故の状況

（10月31日現在）

	人身交通事故			物損交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	11	0	22	380
昨年同期	14	0	18	467
増減	−3	0	+4	−87

“今”知りたい暮らしの情報をチェックしよう！

市公式SNSでは市民のみなさんの“今知りたい”情報を発信しています。フォローすれば、広報紙よりも早く最新情報がスマホに届き、日々の生活がもっと便利に、もっと楽しくなります。

- イベントの最新情報
- 暮らしに役立つ市からのお知らせ
- 写真や動画で飛騨の魅力を発見
- 緊急時の大切なお知らせもすぐ届く

問 総合政策課　TEL 0577-62-8880



10/3 地域の皆さんを前に 河合小児童が練習の成果を披露

河合小学校の児童らが、故郷への思いや周囲の皆さんへの感謝の気持ちを込め、これまで練習してきた歌舞伎や民話劇、太鼓演奏、合唱などを披露する「河合っ子座公演」が行われました。



10/4 飛騨の山城まるごと体感！ 公認ガイドによる山城ツアーを開催

国史跡「姉小路氏城跡」の公認ガイドのスキルアップと市内の山城の魅力を発信するため、古川城跡と小島城跡で山城ガイドツアーと中井均先生による講演会が開かれました。



10/6 山之村小中学校で本格的な中国の伝統芸能「京劇」を鑑賞・体験

文化庁の「学校巡回公演事業」として、東京都の京劇団・新潮劇院で代表を務める張春祥さんら５名を招いた文化芸術鑑賞会が山之村小中学校で行われ、児童生徒が本格的な中国の伝統芸能に触れました。



10/3 野外フェス「ノアソビマーケット」で スキー場に盛り上がり

飛騨かわいスキー場の「ノアソビキャンプ場」で「第３回connectノアソビマーケット」が開かれ、大勢の家族連れらが大道芸や野外ライブ、ワークショップなどを楽しみました。



10/5 古川町の山口むらさんが めでたく100歳を迎えられました

古川町の山口むらさん（大正15年10月５日生まれ）が100歳を迎えられたことを受け、ご自宅を訪ねて市から花束とお祝い金をお贈りし、ご家族とともに長寿をお祝いしました。



10/7 食味を競う利き鮎会で「清流みやがわ鮎」が準グランプリを受賞

高知市で開かれた「第27回清流めぐり利き鮎会」で、宮川の「清流みやがわ鮎」が準グランプリを受賞したことを受け、宮川下流漁協の森下真次組合長らが市役所を訪れ、都竹市長に受賞の喜びを報告しました。

飛騨市役所

ホームページとSNSで掲載以外のまちの話題も配信中！



10/9 東茂住郵便局サロンで特殊詐欺防犯講座を開催

市と郵便局による包括連携協定や「地域見守り相談員」事業の一環として、飛騨警察署員を講師に招いた特殊詐欺防犯講座が東茂住郵便局で開かれ、地域住民11人が参加しました。



10/9 古川祭が「日本夜景遺産」に！幻想的な夜祭の魅力が全国区へ

「古川祭」が新たに「日本夜景遺産」に認定されました。全国171カ所の応募の中から厳正な審査を経て選ばれ、飛騨地域では初の快挙です。無数の提灯が町を彩る幻想的な「夜祭」の景観が公に認められました。



10/14 100歳を迎えた古川町の上野マツ枝さんをお祝いしました

古川町の上野マツ枝さん（大正15年10月14日生まれ）が100歳を迎えられたことを受け、現在入所されている施設を訪問し、市から花束とお祝い金をお贈りし、ご家族とともに長寿をお祝いしました。



10/15 古川町の中村たがさんがめでたく100歳を迎えられました

古川町の中村たがさん（大正15年10月15日生まれ）が100歳を迎えられ、ご自宅を訪ねて市から花束とお祝い金をお贈りし、ご家族とともに長寿をお祝いしました。



10/16 古川西小6年生が地域の皆さんを前に獅子舞などを披露しました

「地域を盛り上げるために自分たちにできることをしよう」と、古川西小学校６年生が同校区の皆さんを招き、自分たちで考えた獅子舞や神輿など芸能の披露や昔懐かしい物の紹介、ゲームなどを行いました。



10/17 地域に寄り添い、ともに歩む医療を目指し、飛騨市民病院が今年も「病院祭」を開催

飛騨市民病院が商店街とコラボで恒例の「病院祭」を開催。血管年齢や脳体力などの測定、栄養相談、最新医療機器の見学、プチ講演会ほか、商店街ではバザーやステージイベントもあり、大勢でにぎわいました。



10/19 吉城高１年生が経済ゲームと講話でお金の流れや将来のヒントを学ぶ

古川町のナウエ(株)代表取締役の名上瑞輝さんが、吉城高校の１年生93人を対象に「みんなの経済カードゲーム」を用いたワークショップや講演会を企画し、実践的なキャリア教育を行いました。



10/25 「飛騨・美濃歌舞伎大会」が飛騨市で開催されました

岐阜県内各地の歌舞伎団体などが集い、それぞれが練習を重ねてきた演目を披露しながら交流を深める「第33回飛騨・美濃歌舞伎大会 ひだ2026」が開催され、３団体が熱のこもった舞台を披露しました。



10/26 市の健康増進施策に対し明治安田生命が寄附金を贈呈

明治安田生命保険(相)の寄附制度「私の地元応援募金」を活用し、同岐阜支社から飛騨市の健康増進施策に対して寄附をいただき、同社の齊藤耕一飛騨高山営業所長から藤井副市長に目録が手渡されました。



10/27 インターナショナル・ビアカップで銅賞受賞を霜出悦生さんが市長へ報告

日本地ビール協会主催の国際的なビール品評会「インターナショナル・ビアカップ」で銅賞を受賞した古川町のクラフトビール醸造所「ヒダノオクブルワリー」の霜出悦生さんが市長へ受賞を報告しました。



10/27 CoIU生が授業の一環で議会一般質問を体験しました

市内に開学したコー・イノベーション大学(CoIU)で都竹市長が担当する講義「地方政治入門」を受講している学生らが、市役所の議場で本番さながらの模擬一般質問を行いました。



10/30 市内の高校に通う生徒を対象に産婦人科医が講話

性に関する正しい知識やプレコンセプションケアについて若い世代に学んでもらい、自分らしい未来の選択がもてるように、女性クリニックWe!TOYAMAの鮫島梓医師による保健講話が行われました。

飛騨市 × ハナマルキコラボ

液体塩こうじで楽しむ飛騨の食材レシピ

サーモン塩こうじ焼き

えごま味噌ダレ・キクラゲ中華マリネ



サーモンをいつもと違う味付けで楽しむ
簡単おすすめレシピです

液体塩こうじがお魚の臭みを取り
下味もしっかりつきます

材料 4人前

◇サーモン塩こうじ焼き

サーモン切り身	４切れ
液体塩こうじ	大さじ２(サーモン重量の10%)
米油	適量

◇えごま味噌ダレ

えごま	大さじ１
味噌(追いこうじ味噌)	大さじ１
煮切りみりん	大さじ２
水	大さじ１

◇キクラゲ中華マリネ

生キクラゲ	100g
長ネギ（細切り）	10 ㎝（白い部分）
液体塩こうじ	大さじ１
酢	大さじ１
ごま油	大さじ１
鷹の爪（輪切り）	適量
白ごま	小さじ１
青味(ブロッコリーなど)	適量



作り方

◇サーモン塩こうじ焼き

1. サーモンを袋に入れ、液体塩こうじを加え 10 分漬ける。
2. サーモンの表面を軽く拭き、米油を引いたフライパンを中火にし両面を焼く。

◇えごま味噌ダレ

1. フライパンでえごまを弱火で軽く空炒りし、香り立ったらすり鉢ですりつぶす。
2. 味噌、煮切りみりん、水を加えよく混ぜる。

◇キクラゲ中華マリネ

1. キクラゲは石づきを取り、一口大に切る。青味（彩り用）も同様。
2. キクラゲ、青味をそれぞれ茹で、ざる上げする（冷水に落とさない）。
3. フライパンにごま油を入れ、長ネギと鷹の爪を弱火で軽く炒める。
4. 火を止め、液体塩こうじと酢を加えて混ぜる。
5. ボウルに移し、キクラゲを加えて和える。

◇盛り付け

・サーモンと青味を器に盛り、えごま味噌ダレをかけ、マリネを添えて白ごまを散らす。

食の大使より一言コメント

塩こうじパワーでサーモンがしっとり、ふっくら！えごま味噌との相性バッチリ。
おかず、酒の肴、お弁当にも活用できる万能レシピ！



HIDAICHI コラム

発行／令和８年11月16日 飛騨市役所　編集受託／てのひらプロダクツ　印刷受託／有限会社村坂印刷
〒509-4292　岐阜県飛騨市古川町本町2番22号　TEL 0577-73-2111　URL https://www.city.hida.gifu.jp/
落丁・乱丁の場合はお取り替えします。
UD FONT by MORISAWA
VEGETABLE OIL INK
再生紙と環境に優しい植物インキを使用しています。